

平成23年度（前期）事業報告

（平成23年4月1日～平成24年1月3日）

一 調査研究及び人材育成事業

1 航海の安全、海洋環境の保全等に関する調査研究

（日本財団助成事業）

（1） 海洋の歴史的資料等の保存及び公開 （継続（2年計画の2年目））

海上保安庁海洋情報部等に散在する歴史的資料の調査を実施し、それらを電子化して一般に公開することで海洋に関する国民の理解の増進に寄与することを目的とする。

平成23年度前期は、専門家による委員会を立ち上げ歴史的資料の調査、管理、公開方法について検討し、委員会の決定事項に基づき海洋情報部で保存する水路図誌等及び海洋情報部外に存在する旧版海図などの資料の電子化を実施した。

（2） 水路分野の国際的動向に関する調査研究 （継続）

国際水路機関（IHO）、東アジア水路委員会（EAHC）、国際海事機関（IMO）など水路分野に係わる国際会議に委員または委員代理を派遣して、電子海図の新基準の仕様策定など水路分野の国際的な動向全般の情報を収集する。また、航海の安全確保に不可欠な電子海図の世界的な普及促進のための技術協力・人材育成等の面で我が国の指導的地位を強化することで、航海の安全確保はもとより国際的な連携の確保及び国際協力の推進に貢献するとともに大陸棚の画定や海底地形名称の登録など我が国の海洋権益の確保に寄与する。

平成23年度前期は国際水路機関主催の「地域間調整委員会」等16の委員会等に出席し、水路分野の国際的な動向全般の情報収集を行った。

（3） 海図国際基準の情報収集と国際的な海図専門家の育成 （継続（5年計画の4年目））

電子海図の空白海域が存在する国の海図専門家に水路データ処理、高品質の海図の調整及び最新維持化並びに海図の電子化の技術を習得させ、刊行国間のデータの一貫性を促進するための専門家間の国際的なネットワークを構築すること並びに国際水路機関事務局（IHB）において進展の著しい電子海図等の国際基準の情報を収集することを目的とする。

平成23年度前期は、英国海洋情報部（UKHO）研修所において東南アジアを主とした6名の専門家に対し上記研修を実施した。また、国際水路機関事務局において電子海図等の国際基準の情報収集を実施した。

2 水路技術の研修

平成 23 年度前期は、(社) 海洋調査協会との共催により次のとおり実施した。

研 修 名		期 間	受講者数
2 級水路測量技術研修	港湾級 (12 日間)	4 月 4 日～4 月 16 日	5 名
	沿岸級 (20 日間)	4 月 4 日～4 月 26 日	5 名
1 級水路測量技術研修	港湾級 (12 日間)	5 月 9 日～5 月 21 日	10 名
	沿岸級 (20 日間)	5 月 9 日～5 月 31 日	6 名
沿岸海象調査研修	海洋物理コース (6 日間)	6 月 6 日～6 月 11 日	6 名
	水質環境コース (6 日間)	6 月 13 日～6 月 18 日	7 名

(各級の研修日数は、日曜日を除いた日数)

3 水路測量技術検定試験

平成 23 年度前期における試験の実施及びその結果は、次のとおりであった。

種 別	実 施 日	沿 岸 級		港 湾 級		試 験 地	
		受験者	合格者	受験者	合格者		
2 級	一次試験	6 月 4 日	0	0	4	1	東 京
	二次試験	6 月 4 日	8	5	11	11	東 京
1 級	一次試験	7 月 2 日	5	3	4	2	東 京
	二次試験	7 月 2 日	16	11	17	14	東 京

4 水路技術奨励賞

少壮の水路技術者の研究開発意欲を振興するための表彰事業であるが、平成 23 年度後期を予定している。

5 水路新技術研究開発

本事業は、海洋調査や海洋情報の処理・提供に関する最新の研究成果を一般に周知することにより水路新技術の開発、利用を進めるもので、昭和 59 年度から実施している。

平成 23 年度前期は次の事業を実施した。

(1) 水路新技術講演会の開催 (第六管区海上保安本部と共催)

平成 23 年 8 月 24 日 (広島県広島市南区元宇品 23-1 グランドプリンスホテル広島)

参加者総数 161 名

講演内容

○基調講演：「海洋台帳の整備 ～多面的な海洋利用に向けて～」

海上保安庁海洋情報部海洋情報課課長 岩淵 洋 氏

：「海洋酸性化に伴う海底堆積物からの鉄の溶出～広島湾での例～」

海上保安大学校准教授 川村 紀子 氏

○記念講演：「海洋管理のめざすもの ～国際的動向をふまえて～」

東京大学大気海洋研究所教授 道田 豊 氏

○パネルディスカッション：「海洋管理における瀬戸内の役割・意義を考える」

パネリスト 6 名

(2) 水路新技術講演集 第 25 巻 平成 23 年 11 月刊行

平成 23 年 2 月及び 8 月に実施した水路新技術講演会の講演内容を収録した講演集を刊行した。

6 プレジャーボート愛好者に対する海図等の普及活動

プレジャーボート愛好者の航海安全を目的として、海図、「ヨット・モータボート用参考図 (Y チャート)」、「プレジャーボート・小型船用港湾案内 (S ガイド)」の見方、使い方を講習する「チャートワーク教室」を開催した。

平成 23 年度前期開催の「チャートワーク教室」は、次のとおり。

	地 域	実 施 場 所	実 施 日	参 加 者 数
第 1 回	関 西	新西宮ヨットハーバー	平成 23 年 10 月 1 日	35 名

二 海洋情報提供事業

1 小型船等の海難防止に必要な航海用参考図書の刊行及び海図等の販売

(1) 出版物の刊行

① 新 刊

「平成 24 年瀬戸内海・九州・南西諸島沿岸潮汐表」

② 改 版

・ヨット・モータボート用参考図 (Yチャート)

「三河湾」「伊良湖水道一の矢」「播磨灘北部」「播磨灘南部」の 4 図

・プレジャーボート・小型船用港湾案内 (S ガイド)

「瀬戸内海東部」の 1 巻

③ 電子参考図 (ERC)

ERC のデータデータファイルを 8 社の船用機器メーカーに供給した。

④ 航海用電子参考図 (new pec)

・本州北西岸

・北海道及び本州北岸

の 2 海域を刊行した。

(2) 海図等の販売

当協会では、主に個人客向けに海図、航海用参考図書等の店頭販売を実施しており、当協会のホームページにインターネットショッピングのサイトとして「海図ネットショップ」を開設して購入者の利便性の向上を図っている。

さらに、水路協会作成の海図索引図、宣伝用リーフレット等の販売促進用資

料の配布や新商品の発売に合せた周知文の送付により販売の促進を図るなど引続ききめ細かな対応を行った。

2 海洋データ・情報等の収集及び分析並びに成果の提供

(1) 海洋データ研究

海洋情報研究センター（MIRIC）において、海洋の機構・機能の解明及び海洋の開発利用の推進に必要な海洋データ・情報の品質管理や技術開発に関する調査研究、データ加工品の作成、データ・情報のオンライン提供、各国のデータ管理者及び情報に関する研究者との共同研究を行った。

(2) 海洋情報の提供

海洋情報研究センター（MIRC）において、海洋に関するデータ（水深、底質、等深線、水温・塩分、海流、潮汐、潮流、波浪等）及びMIRCが開発・作成した各種海洋情報・データセットの提供サービスを行った。

また、海底地形デジタルデータ M7000 シリーズ 4 海域のデータを更新するとともに、平成 22 年度に更新した 3 海域と新規 1 海域を製品化した。

3 広報普及活動

「海の月間」等の海洋関係の行事に参加し、ポスター、パンフレットの作成・配布等の広報活動を行った。「海の月間」では、「臨時海の相談室」（東京・船の科学館；7月23日～24日）を開設して、海事、海洋に関する知識等の普及を図った。

また、「関西フローティングボートショー2011」（9月30日～10月2日）に出展し、海図、航海用参考図書、電子参考図等の普及促進に努めた。

さらに、当協会のオリジナル・カレンダー「2012年潮見カレンダー」の製作・配布及び「東京湾潮干狩りカレンダー」のホームページへの掲載を行い、海洋レジャー愛好者等への便宜を図った。

当協会の新製品である航海用電子参考図（new pec）について、プレジャーボート愛好者向け雑誌に広告を掲載するとともに、new pec の利活用方法等に関する企画記事を掲載した。

4 受託事業

以下の受託事業を実施した。

- (1) 内海水先区水先人会：内海水先業務用参考図の作成
- (2) 気象研究所：太平洋赤道域における海洋 CO₂ の長期変動メカニズムに関する研究
- (3) (独) 国立環境研究所：太平洋の貨物船による二酸化炭素交換収支観測データ解析
および公開業務
- (4) 北海道大学：海洋空間情報の整備
- (5) 国際協力機構：航行安全・防災・環境保全施策立案のための海洋情報整備（水路測量国際認定 B 級）コース

5 ISO9001:2008の認証

海洋情報提供事業部門において厳正な製品作成、的確な出荷検査、顧客への確実な引き渡しなど顧客満足度の向上を目指してISO9001（品質管理）の認証を得ることとし、平成23年12月16日ISO初回認証審査（第一段階）を受検した。

三 海図等の複製頒布事業

平成23年度前期は、海図等に係わる以下の複製頒布事業を実施した。

1 海図等の複製

- ・航海用海図： 756 図（全紙: 336,011 枚、1/2 版: 18,330 枚、1/4 版: 1,645 枚）
- ・航海用電子海図（ENC）：セル数 706 セル
- ・特殊 図： 93 図（4,231 枚）
- ・航空 図： 16 図（全紙: 0 枚、1/2 版: 615 枚）
- ・水路書誌： 43 種（水路誌 2,150 冊、特殊書誌 10,900 冊）

2 海図等の頒布

(1) 航海用紙海図頒布数合計	262,153 枚
① W海図（日英両国語併記の日本海図）	105,431 枚
② JP海図（英語表記の日本海図）	156,722 枚
(内訳) 日本水路協会頒布分	53,310 枚
英国海洋情報部頒布分	103,412 枚
(2) 航海用電子海図（ENC）	219,396 セル
(内訳) 日本水路協会頒布分	84,148 セル
英国海洋情報部及び プライマー頒布分	135,248 セル
(3) 水路書誌 頒布数	18,608 冊
(4) 水路通報（小改正通報）	
海図の改補情報及び補正図を冊子の水路通報（小改正通報）として印刷し配布した。	
①水路通報（小改正通報）：毎週1回平成23年度前期39回 (日本語約2,800部、英語約2,300部)	
②補正図：毎週1回平成23年度前期38回	

3 航海用電子海図

国際航海に従事する3,000トン以上の新造タンカー等について電子海図表示装置

(ECDIS) の搭載が平成24年7月から義務化され、また、その他の国際航海に従事する船舶についても、順次 ECDIS の搭載が義務化されることとなった。

これに伴い、我が国の電子海図について、情報の充実と利便性の向上を目的として電子海図の外部ファイル参照機能を活用した海図の記事情報の提供が行われることとなった。当協会では、平成23年1月からENC暗号化セル売りシステムの改修に着手し予定通り平成23年10月からENCの外部ファイルの提供を開始した。

4 海図等の頒布促進活動

(1) 国内水路図誌販売代理店会議の開催

海図・航海用電子海図等の普及促進を図るため、当協会の主な国内水路図誌販売代理店8社の担当者を招き、10月13日に当協会内で「国内水路図誌販売代理店会議」を開催した。

会議では、当協会から各事業について説明した後、総合討論など活発な情報交換を行い、意思の疎通を図った。

(2) 航海用電子海図(ENC)セル索引図の配布

12月23日発行の「水路図誌目録」(和文、英文)に航海用電子海図(ENC)セル索引図(日本語・英語併記版)を付して配布した。

・航海用電子海図(ENC)セル索引図 5,400枚

(3) 「海の図いろいろ」の配布

水路図誌等についてわかりやすく説明したパンフレット「海の図いろいろ」を作成してポートショーなどの各種イベントで配布するとともに関係機関に配布した。

(4) 海図検索システム「チャート・ナビ」の改良

水路協会ウェブサイト上で稼働中の海図検索システム「チャート・ナビ」において利用者が検索した海図を国内水路図誌販売代理店に直接注文することのできるメール発信機能を追加した。

5 ISO9001:2008の認証登録の継続

水路図誌事業本部では、ISO品質方針を策定し、品質管理システムの有効性の確認及び継続的な改善を図って、提供サービスの向上に努めている。

現在、「水路図誌(紙海図、電子海図及び水路書誌)の複製頒布」の品質管理システムに対して、ISO9001の2008年版の認証登録が、平成26年2月6日を期限として認められている。認証の登録継続のためには、毎年の審査に合格する必要があるが、平成23年12月5・6日に「継続審査」を受けて合格した。

なお、平成20年2月の認証登録の後、今回を含め、「継続審査」「拡大審査」「更新審査」を計5回受審したが、不合格となる『不適合』は一件も指摘されていない。

6 国際業務

(1) 英国海洋情報部での製品検査及び海外における海図需要動向調査

平成 23 年 10 月、英国海洋情報部において同部で印刷される J P 海図の印刷製品等を検査するとともに、当協会の紙海図及び ENC の海外における需要動向を調査した。また、英国国内の販売代理店において需要動向及び顧客サービスの状況について調査した。

(2) 韓国海洋調査協会との定例会合

平成 23 年 10 月、韓国海図の複製頒布事業を行っている韓国海洋調査協会 (KOHA) との第 4 回定例会合を韓国において開催し、最近の業務に関して情報交換を行った。

四 新公益法人制度への対応

平成 23 年 5 月の評議員会、理事会において、定款 (案) 及び公益目的支出計画等の申請書類が承認され、同年 6 月 27 日に一般財団法人への移行を申請した。

平成 23 年 12 月 22 日に内閣総理大臣より一般財団法人への移行が認可され、平成 24 年 1 月 4 日に一般財団法人日本水路協会の設立登記を行った。